２　目 標 達 成 計 画

事業所名　ＧＨしあわせの里
作成日　平成２８年　５月１５日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目　標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	16	日中の排泄ケアにおいて、リハビリパンツ・パット使用の方が多くなっている。	ひとりひとりの排泄パターンをもとに、再度検討することにより、リハビリパンツ・パットの使用を減らす。	定例会議を中心に議題として挙げ、各スタッフの意見を参考にしながら、どうしたらリハビリパンツ・パットの使用を減らすことができるかを個別に話し合い、期間を設定し取り組む。	6ヶ月
2	18	人員体制により（スタッフ数が少ない）により、外出の機会が少ない。	少ない職員数の中でもシフト上、人数が多い時もあるので、その時を狙って外出の計画を立てたり、機会を設ける努力をする。	特に気候が良い時期には外に出る機会を極力作るようにして、シフト上外出担当者を決めた中で取り組むようにする。	3ヶ月
3	13	災害発生時の緊急対応方法が確立していない。	避難訓練の実施はもちろんのこと、ホーム内で災害発生時の対応についての会議を設け、決定事項を全スタッフが確認し、実行できる心構えを持つ。	先日の地震発生時には隣接する事業所も含め会議を開き、細かく決定事項をまとめ、全スタッフへの周知を行った。地震以外の災害時にも対応できるよう、いくつかのパターンの災害マニュアルを作成する。	3ヶ月
4	1	理念の共有と実践が出来ていない。	理想は全スタッフが何も見なくても理念を言えることだと思うが、最低でも常に意識すべき項目が頭の中にしっかり入るようにする。	利用者の家族様からの指摘を受け、全スタッフを対象に理念の確認とその意味を再度理解する為の研修は一度行った。少し時間が経つと薄れていくので、定期的に定例会議の中に取り入れていく。	12ヶ月
5	2	地域とのつながりを更に深めていく。	2ヶ月に1回開催される運営推進会議を中心に、地域の情報を収集する。	運営推進会議のあり方をもう一度見直し、地域の情報を確実に得た上で参加していくとともに、管理者のみが参加するのではなく、他スタッフも参加することにより、地域の方に事業所のスタッフの顔も覚えてもらう。	12ヶ月

注１）項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注２）項目数が足りない場合は、行を追加すること。